2024 年度 学術委員会代謝専門部会 活動報告書

2024年度、私たち東京都臨床工学技士会学術委員会代謝専門部会は、代謝治療領域における臨床工学技士の専門性を深め、その知識を普及させることを目指しました。

その活動として、「慢性期」「急性期」「その他」の3チームを編成し、年間を通じてそれぞれの専門性を活かした多角的な取り組みを行いました。

学術セミナー開催報告

2024年度は、年間を通じて計6回の学術セミナーを企画・開催いたしました。

参加者の皆様が参加しやすいウェブセミナー形式を主軸としつつ、実践的技術の習得を目的とした対面式のハンズオンセミナーも実施いたしました。小児・新生児の急性期血液浄化から、慢性期のバスキュラーアクセス管理、腹膜透析、HDF療法、そして CRRT まで、多岐にわたるテーマを取り上げ、各分野の第一線でご活躍されている講師の先生方をお招きしました。おかげをもちまして、各回ともに多数の皆様にご参加いただき、盛会のうちに終えることができました。













透析業務に関する実態調査の実施

また、2024年度は東京都内の施設を対象に透析業務に関する実態調査を実施いたしました。 本調査では、各施設の業務体制、臨床工学技士の役割、課題、そしてニーズについて、多岐に わたる項目にご回答いただきました。

ご多忙の折にもかかわらず、本調査にご協力いただきました各施設の皆様に、心より感謝申し 上げます。

ご回答いただいた貴重なデータは、現在慎重に分析を進めております。

分析結果につきましては、今後、当会ウェブサイト内の施設代表者サイトでの公開を予定しております。この結果は、今後の学術セミナーのテーマ設定や、臨床工学技士の専門性向上に資する新たな活動の企画・立案に、最大限に活用させていただきます。

本調査にご協力いただきました全ての皆様に、重ねて御礼申し上げます。

2025年度も、臨床工学技士の専門性向上に貢献できる、より魅力的な企画を立案・実施してまいります。

今後とも当専門部会の活動に、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。